

# 戦 評

大会名 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子・決勝

会場名：花巻市総合体育館

主 審：佐々木 泰幸

副 審：及川 晃弘

試合結果

一 関 修 紅	}	22	—	25	}	盛 岡 南
		22	—	25		
3		25	—	21		2
		25	—	21		
		15	—	10		

戦 評 試合時間 1時間 54分

第1・2セットは両チームともセッターを中心としたコンビバレーを展開し、一進一退の攻防を繰り広げるが、終盤、1番・三上のサーブから6連続得点をあげた盛岡南がセットを連取した。

第3・4セット、巻き返しを図りたい一関修紅は9番・伊藤(璃)を投入。一関修紅はエースの4番福士にボールを集め、連続得点を重ねリードを広げる。追いつきたい盛岡南は13番・佐藤のレフト攻撃で反撃するが、一関修紅が逃げ切りフルセットに持ち込む。

第5セット、一関修紅は4番・福士がスパイク、サーブと大活躍しリードを広げる。追いかける展開となった盛岡南は6番・皆川のサイド攻撃で反撃するが一步及ばず、一関修紅が3年連続9回目の優勝を手にした。

※ 7～10行にまとめること。

戦 評 者：村田 基

岩手県バレーボール協会 審判委員会

# 戦 評

大会名 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子・決勝

会場名：花巻市総合体育館

主 審：新沼 美穂

副 審：多田 直樹

試合結果

<u>盛岡誠桜</u>	}	25	—	23	}	<u>高田</u>
		25	—	19		
3		25	—	21		0
		—				
		—				

戦 評                      試合時間 1時間 26分

2年振り20回目の優勝を目指す盛岡誠桜と、2年連続21回目の優勝を目指す高田の決勝となった決勝戦。両チームともブロックが良くネット際のプレーが多い試合となった。全セットとも序盤は高田がリードし、中盤以降は盛岡誠桜が盛り返す展開となった。第1セット、最大8点差をつけた高田であったが、盛岡誠桜の4番・伊藤と10番・渡邊(真)のコンビやストレートスパイクにより追いつけた盛岡誠桜が先取する。第2セット、長いラリーを制した高田が流れをつかむ。タイムアウト明け、盛岡誠桜はブロックにより得点を重ねて追いつける。高田は中盤以降、痛恨のサーブミスが重なりそのまま勢いにのった盛岡誠桜がセットを連取した。後のない高田は序盤からエースの3番・山田にトスを集めるも、両エースが5本連続で打ち合う長いラリーを制した盛岡誠桜が第3セットも取り20回目の優勝を飾った。

※ 7～10行にまとめること。

戦 評 者：佐藤 寛則

岩手県バレーボール協会 審判委員会